

## 仮設木道の整備作業

猪の瀬戸の三差路から湿原に向かう通路がぬかるんだ状態になっていました。

そこで不要になった丸太を利用して実験的に仮設の木道を作りました。

この上を歩いていけば、スニーカーでも湿原入口付近の植物を観察することができます。

材料のスギ丸太は周辺の間伐材を使いましたが、防腐剤等の薬剤処理をしていませんので長期間の使用には耐えられそうにありません。

当分の間、利用できます。

残るはトイレの問題です。環境省や県などによる本格的な整備が待ち望まれます。



間伐材を使った仮設木道の整備作業

## 猪の瀬戸湿原周辺域の野鳥生息調査

11月25日は野鳥調査班の調査日で、担当の中村茂会員らは周辺でバンディングネットを使って調査を行いました。

すでに、冬鳥の季節になっていて、その生息状況を把握できたようです。

猪の瀬戸湿原ではこれまでにカッコウ、ホトトギス、キセキレイ、オオヨシキリ、セッカ、オオルリ等多くの野鳥が観察されており、野鳥の生息地としても重要な地域といえるでしょう。

この日はルリビタキ、ウソ、マヒワを捕獲して確認しました。



ルリビタキ (ヒタキ科)  
コバルトブルーの冬鳥



ウソ (アトリ科)  
雄はのどが赤色で冬に渡来



マヒワ (アトリ科)  
全体に緑がかった森林性の冬鳥